

No	感染症(PT)	出典	概要
363	ウイルス感染	WHO/EPR 2007年8月3日	ウガンダで29歳男性がマールブルグ出血熱と確定診断された。この男性は2007年7月4日に発症し、7月7日に入院し、7月14日に入院した。この男性は6月27日に同様の症状を発症し、入院した職場の同僚の介護を行っていた。調査の結果、この職場では他に感染疑いが1例確認され、また6月中旬に病氣となり、その後、回復した人が2例いた。
364	ウイルス感染	Wkly Epidemiol Rec 2007; 82: 169-178	2006年12月21日にケニアで10例の患者がリフトバレー熱(RVF)と確定診断され、WHOは翌日、警告を発した。ケニアでは2006年11月30日～2007年3月12日に死亡155例を含む684例が、ソマリアでは2006年12月19日～2007年2月20日に死亡51例を含む114例が、タンザニアでは2007年1月13日～2007年5月8日に死亡117例を含む290例が報告された。ヒトへのRVF伝播の最も重要な暴露因子はウイルス血症の動物(ヒツジ、ヤギ、ウシ、ラクダ)の血液および体液との接触であった。
365	ウイルス性脳炎	Neurology 2007; 69: 156-165	同種造血幹細胞移植(HSCT)後に急性大脳辺縁系脳炎を発症した患者9名の臨床、EEG、MRI、ならびに臨床検査特性を調べた。患者は、順行性健忘、不適切な抗利尿ホルモン分泌症候群、軽度CSF多球症、一時的なEEG異常を特徴とした。MRIでは、T2、FLAIR、DWI画像にて、鉤、扁桃体、内側嗅頭、海馬領域内に高信号域を認めた。PCRを用いた初回腰椎穿刺CSFの検査では9名中6名がHHV6陽性であり、同脳炎はHHV6と関連がある可能性が示唆された。
366	肝炎	Med Mol Morphol 2007; 40: 23-28	ALTが高く、HCV抗体とB型肝炎表面抗原が陰性である供血者からの血漿検体中のウイルス様粒子(VLPs)を視覚的に捉えようと試み、また、このVLPsと非経口的に感染するGBV-C/HGVの遺伝子との関係を調べた。その結果、循環血液中のVLPsの検出率は、有意にALTレベル上昇と関係(P<0.001)していたが、VLPsを含む血漿のいずれにも、GBV-C/HGV RNAは検出されなかった。電子顕微鏡で球状のVLPsが確認され、それらが非B非C型肝炎に関連していることが示唆された。
367	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	ドイツにおけるヒトバベシア症の初めての症例を報告する。患者は結節性リンパ球性ホジキンリンパ腫が再発し、脾臓摘出されたドイツ人の63歳男性で、リツキシマブ投与後、貧血とヘモグロビン尿による暗色尿のため入院した。末梢血塗抹標本で梨状の寄生虫赤血球封入体が確認されバベシア症と推定され、Babesia特異的18S rDNA PCRによって確認された。シーケンス分析によりEU1と99.7%の相同性があり、EU3と名づけられた。寄生虫が消えるまでにはatovaquoneによる長期治療を要した。
368	寄生虫感染	第66回日本寄生虫学会東日本支部大会(2006.10.21) 一般講演21	20頭のリスザルを飼育する日本国内A施設において死亡したリスザル11頭を病理学的に検索したところ、4頭の雄にEncephalitozoon cuniculi原虫が確認された。また輸入直後サル14頭中1頭に原虫が確認された。国内15施設の266頭の血清を調べたところ、9施設で抗体陽性サルが確認され、陽性率は14.3～100.0%であった。輸入直後の93頭中5頭(5.4%)が抗体陽性であった。国内リスザル施設に予想以上にE. cuniculiが浸淫していた。
369	狂犬病	ProMED-mail20061118.3303	2006年11月17日、京都府の保健所は、京都市の60歳代の男性がフィリピンで犬にかまれ、帰国後に狂犬病を発症して死亡したと発表した。厚労省によると、日本人が国内で狂犬病を発症したのは36年ぶりである。厚労省によると、男性はフィリピン滞在中の8月末に野良犬にかまれ、11月1日に帰国した。9日に風邪のような症状で京都市内の病院を受診した。その後、幻覚症状、水や風を怖がるなど狂犬病特有の症状を発症した。国立感染症研究所が調べたところ、男性の唾液から狂犬病ウイルスが検出された。
370	狂犬病	ProMED-mail20070204.0449	中国Beijing市保健局は2007年2月2日に、BeijingのDashing地区の農業労働者が狂犬病で死亡したことを発表した。本症例はBeijingにおいて2007年に報告された初めての狂犬病症例である。2007年1月初めに、この農業労働者は野良犬(シェパードの子犬)を発見し、捕獲中に指を咬まれた。咬まれてから約4週間後の1月30日に咬まれた部位に不快感を感じ、翌日の1月31日、狂犬病疑いと診断された。同日、典型的な狂犬病症状を呈し、2月2日に死亡した。
371	狂犬病	ProMED-mail20070305.0782	中国Hunan省では2007年最初の2ヶ月で61人が狂犬病で死亡した。同省では2006年には443人が狂犬病で死亡した。狂犬病は昨年は中国で最も死亡者の多い感染症である。ワクチンを接種していないイヌは処分すべきであるとしている。
372	狂犬病	ProMED-mail20070323.1011	カナダで、公衆衛生当局はWoolwich Townshipにおいて動物4例(ウシ2頭、ウマ1頭、スカンク1匹)が検査で狂犬病陽性であったことを確認した。これらの動物は全て処分された。6人が感染した家畜に接触したおそれがあり、狂犬病ワクチンで治療されている。このアウトブレイクの原因は狂犬病のスカンクである。
373	狂犬病	ProMED-mail20070612.1917	2007年5月の中国における狂犬病による死亡者は201例で、致死的な感染症の中で最も死亡例が多かった。結核が第一位になった3月を除いて、最近13ヶ月間は狂犬病による死亡者数がトップである。